

GRI対照表

■「準拠」に関するGRI内容索引 本レポートは、「GRIスタンダード」の「中核(Core)」に準拠しています。

【一般開示事項】組織のプロフィール／戦略、倫理と誠実性、ガバナンス／ステークホルダー・エンゲージメント、報告実務、マネジメント手法
【マテリアルな項目】

一般標準開示項目 (GRI 102: 一般開示項目 2016)

組織のプロフィール

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-1	組織の名称	会社情報	206
102-2	活動、ブランド、製品、サービス	事業ポートフォリオ	4
102-3	本社の所在地	会社情報	206
102-4	事業所の所在地	会社情報	206
102-5	所有形態および法人格	会社情報	206
102-6	参入市場	事業ポートフォリオ	4
102-7	組織の規模	会社情報	206
102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	会社情報	206
		社会データ	188-190
		10周年ハイライト	196
102-9	サプライチェーン	バリューチェーン	37-38
		E サプライチェーン・マネジメント	122-124
		S サプライチェーン・マネジメント	131-132
102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	—	

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-11	予防原則または予防的アプローチ	企業理念	6
		コーポレートガバナンス	69-72
		その他環境管理	125-127
		労働安全衛生	157-162
		施工部門における労働安全衛生マネジメントシステム	157
		労働災害発生状況	158
		コンプライアンスの推進	166-168
		内部通報システムと公益通報者の保護	166
		リスクマネジメントの強化	169-171
		自然災害発生時の対応	171
102-12	外部イニシアティブ	社外からの主な評価と受賞実績	92-93
		参画中の主たるイニシアティブ・団体等	101
		「Global Alliance for Buildings and Construction (建築・建設業界におけるグローバルアライアンス)」に加盟	107
		SBT (Science Based Targets) が主催する「Business Ambition for 1.5°C」に加盟	107
		障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアティブ「The Valuable 500」に加盟	145
102-13	団体の会員資格	参画中の主たるイニシアティブ・団体等	101

GRI対照表

戦略

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-14	上級意思決定者の声明	社長メッセージ	23-26
		財務資本戦略	42-45
		取締役会議長メッセージ	68
102-15	重要なインパクト、リスク、機会	積水ハウスグループのビジョン ～グローバルビジョンとサステナビリティビジョン2050～	8
		創業から積み上げてきた積水ハウスのコーポレートストーリー	9-12
		積水ハウスのマテリアリティ	13
		積水ハウスのコーポレートストーリーが創出する提供価値とマテリアリティ	14-22
		積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会	32
		バリューチェーン	37-38

倫理と誠実性

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ		
102-16	価値観、理念、行動基準・規範	企業理念	6		
		目指す姿	7		
		積水ハウスグループのビジョン ～グローバルビジョンとサステナビリティビジョン2050～	8		
		積水ハウスのマテリアリティ	13		
		コーポレートガバナンス基本方針	69 (全文はWEB)		
		「エコ・ファーストの約束」	112 (全文はWEB)		
		「木材調達ガイドライン」	113 (全文はWEB)		
		「人材サステナビリティ」	145 (全文はWEB)		
		「幸せ健康経営」	150		
		積水ハウスグループ人権方針	152 (全文はWEB)		
		積水ハウスグループ企業行動指針・企業倫理要項	152 (全文はWEB)		
		102-17	倫理に関する助言および懸念のための制度	リスクマネジメントの強化	169-171

ガバナンス

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-18	ガバナンス構造	コーポレートガバナンス体制	72
102-19	権限移譲	主な組織・会議体制と役割	73
		サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-20	経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	ESG経営の推進体制	98-99
		サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-21	経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	ステークホルダーエンゲージメント 参画中の主たるイニシアチブ・団体等	39-40 101
102-22	最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	主な組織・会議体制と役割	73
102-23	最高ガバナンス機関の議長	主な組織・会議体制と役割	73
102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	人事・報酬諮問委員会の取り組み	74
		取締役候補者の選定方針と手続き	76
102-25	利益相反	役員報酬	79
		政策保有株式	81
102-26	目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	主な組織・会議体制と役割	73
		サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-27	最高ガバナンス機関の集会的知見	スキルマトリックスと各項目の選定理由	75
102-28	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	取締役実効性評価	82
102-29	経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会	32
		主な組織・会議体制と役割	73
		ESG経営の推進体制	98-99
		サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	ESG経営の推進体制	98-99
		サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-32	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	サステナビリティガバナンス体制の強化	164-165
102-33	重大な懸念事項の伝達	コンプライアンスの推進	166-168
		リスクマネジメントの強化	169-171
102-34	伝達された重大な懸念事項の性質と総数	分譲マンション用地の取引事故に関する総括検証報告書を受けた取り組み	87
102-35	報酬方針	役員報酬	79-80
102-36	報酬の決定プロセス	役員報酬	79-80
102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	役員報酬	79-80
102-38	年間報酬総額の比率	—	
102-39	年間報酬総額比率の増加率	—	

GRI対照表

ステークホルダー・エンゲージメント

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-40	ステークホルダー・グループのリスト	ステークホルダーエンゲージメント	39
102-41	団体交渉協定	—	
102-42	ステークホルダーの特定および選定	ステークホルダーエンゲージメント	39
102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	ステークホルダーエンゲージメント	39
102-44	提起された重要な項目および懸念	ステークホルダーエンゲージメント	39

報告実務

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	編集方針	98
		会社情報	206
		有価証券報告書	WEB
102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	編集方針	98
		積水ハウスのマテリアリティ	13
102-47	マテリアルな項目のリスト	積水ハウスのマテリアリティ	13
102-48	情報の再記述	ESGデータ	173-191
102-49	報告における変更	積水ハウスのマテリアリティ	13
102-50	報告期間	編集方針	98
102-51	前回発行した報告書の日付	編集方針	98
102-52	報告サイクル	編集方針	98
102-53	報告書に関する質問の窓口	裏表紙	208
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	編集方針	98
		「準拠」に関するGRI内容索引	本対照表
102-55	内容索引	「準拠」に関するGRI内容索引	本対照表
102-56	外部保証	独立保証報告書	192

マネジメント手法

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	積水ハウスのマテリアリティ	13
		積水ハウスのコーポレートストーリーが創出する提供価値とマテリアリティ	14-22
		社長メッセージ	23-26
103-2	マネジメント手法とその要素	ESG経営の推進体制	98-99
		積水ハウスグループにおける創発型ESG経営	100
103-3	マネジメント手法の評価	取締役実効性評価	82
		社外取締役対談	83-86

GRI対照表

マテリアルな項目

経済パフォーマンス (GRI 201: 経済パフォーマンス 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
201-1	創出、分配した直接的経済価値	ESGデータ	173-191
		10カ年ハイライト	193
		会社情報	206
		有価証券報告書	WEB
		決算短信	WEB
201-2	気候変動による財務上の影響、 その他のリスクと機会	積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会	32
		脱炭素社会への貢献	103-107
		TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った 情報開示	108-111
201-3	確定給付型年金制度の負担、 その他の退職金制度	有価証券報告書	WEB

間接的な経済的インパクト (GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
203-1	インフラ投資および支援サービス	地域社会との共生	133-139
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	—	—

調達慣行 (GRI 204: 調達慣行 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	木材調達先 伐採地域別割合	124

腐敗防止 (GRI 205: 腐敗防止 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている 事業所	—	—
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュ ニケーションと研修	コンプライアンスの推進	166-168
		リスクマネジメントの強化	169-171
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	—	—

反競争的行為 (GRI 206: 反競争的行為 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
206-1	反競争的行為、反トラスト、 独占的慣行により受けた法的措置	該当無し	—

税務 (GRI 207: 税務 2019)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
207-1	税務へのアプローチ	税務に関する基本的な方針	167
207-2	ガバナンス、管理、および リスクマネジメント	税務に関する基本的な方針	167
207-3	税務に関するステークホルダー・ エンゲージメントおよび懸念への対処	—	—
207-4	国別の報告	各国で支払った税の内訳	167

原材料① (GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	資源循環	115-118
103-2	マネジメント手法とその要素	資源循環	115-118
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに 向けたテーマ・KPI	19
		資源循環	115-118

原材料② (GRI 301: 原材料 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
301-1	使用原材料の重量または体積	環境データ	179
301-2	使用したリサイクル材料	リサイクルの取り組み	118
		環境データ(サイトレポート)	183-187
301-3	再生利用された製品と梱包材	リサイクルの取り組み	118
		環境データ(サイトレポート)	183-187

GRI対照表

エネルギー①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	脱炭素社会への貢献	103-107
103-2	マネジメント手法とその要素	脱炭素社会への貢献	103-107
		TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示	108-111
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		脱炭素社会への貢献	103-107

エネルギー②(GRI 302: エネルギー 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
302-1	組織内のエネルギー消費量	環境データ	174-175, 179, 183-187
302-2	組織外のエネルギー消費量	—	—
302-3	エネルギー原単位	環境データ	179
302-4	エネルギー消費量の削減	環境データ	179
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	環境データ	179

水①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	水	119-121
103-2	マネジメント手法とその要素	水	119-121
103-3	マネジメント手法の評価	水	119-121

水②(GRI 303: 水 2018)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
303-1	共有資源としての水との相互作用	水	119-121
303-2	排水に関連するインパクトの マネジメント	水	119-121
		水	119
303-3	取水	環境データ	174, 179
		水	119-120
303-4	排水	環境データ	181, 183-187
		環境データ	174, 179, 183-187
303-5	水消費	環境データ	174, 179, 183-187

生物多様性①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	生物多様性保全	112-114
103-2	マネジメント手法とその要素	生物多様性保全	112-114
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		生物多様性保全	112-114

生物多様性②(GRI 304: 生物多様性 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	生態系に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画	112
		生物多様性のリスクにさらされる度合い(エクスポージャー)と生物多様性評価	113
304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	生物多様性保全 E サプライチェーン・マネジメント	112-114 122-123
304-3	生息地の保護・復元	生物多様性保全	112-114
304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	—	—

GRI対照表

大気への排出①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	脱炭素社会への貢献	103-107
103-2	マネジメント手法とその要素	脱炭素社会への貢献	103-107
		TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示	108-111
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		脱炭素社会への貢献	103-107

大気への排出②(GRI 305: 大気への排出 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
305-1	直接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ1)	スコープ1,2温室効果ガス排出量	176, 180-181
305-2	間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ2)	スコープ1,2温室効果ガス排出量	176, 180-181
305-3	その他の間接的な温室効果ガス(GHG)排出量(スコープ3)	スコープ3温室効果ガス排出量	176-177, 180
305-4	温室効果ガス(GHG)排出原単位	環境データ	181
305-5	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	戸建住宅「グリーンファースト ゼロ」によるZEHの推進	103
		事業活動の脱炭素化と気候変動対応	106-107
		積水ハウスグループのバリューチェーンのCO ₂ 排出削減実績	111
		資材・原材料調達段階のCO ₂ 排出削減	124
		スコープ1,2,3温室効果ガス(GHG)排出量の推移	180
305-6	オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	-	-
305-7	窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	有害化学物質による汚染防止のための目標、プログラムおよび実績 環境データ	126 181, 183-187

廃棄物①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	資源循環	115-118
		その他環境管理	125-127
103-2	マネジメント手法とその要素	資源循環	115-118
		その他環境管理	125-127
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		資源循環	115-118
		その他環境管理	125-127

廃棄物②(GRI 306: 廃棄物2020)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	資源循環	115-118
		その他環境管理	125-127
306-2	廃棄物関連の著しいインパクトの管理	資源循環	115-118
		その他環境管理	125-127
306-3	発生した廃棄物	廃棄物量抑制とリサイクルの質向上	117-118
		環境データ	174-175, 178, 181, 183-187
306-4	処分されなかった廃棄物	環境データ	181
306-5	処分された廃棄物	環境データ	181

環境コンプライアンス①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	その他環境管理	125-127
103-2	マネジメント手法とその要素	その他環境管理	125-127
103-3	マネジメント手法の評価	その他環境管理	125-127

環境コンプライアンス②(GRI 307: 環境コンプライアンス2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
307-1	環境法規制の違反	環境関連法規制の遵守評価	127
		「環境」に関する違反・罰則の有無	168

GRI対照表

サプライヤーの環境面のアセスメント①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	E サプライチェーン・マネジメント	122-124
103-2	マネジメント手法とその要素	E サプライチェーン・マネジメント	122-124
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		E サプライチェーン・マネジメント	122-124

サプライヤーの環境面のアセスメント②(GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	調達におけるデュー・ディリジェンスの徹底	123
308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	サプライヤーの環境に対するインパクトの管理/ 環境問題に関するリスク評価	123

雇用①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	人財の育成・開発	140-144
103-2	マネジメント手法とその要素	人財の育成・開発	140-144
		ダイバーシティ&インクルージョン	145
103-3	マネジメント手法の評価	ダイバーシティ&インクルージョン マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	22
		人財の育成・開発	140-144
		ダイバーシティ&インクルージョン	145-146

雇用②(GRI 401: 雇用 2018)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
401-1	従業員の新規雇用と離職	従業員離職率/フルタイム従業員の自主的な離職率	142
		社会データ	190
		10ヵ年ハイライト	196
401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	—	—
401-3	育児休暇	男性の育児休業取得の促進	148
		社会データ	188, 189
		10ヵ年ハイライト	196

労働安全衛生①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	幸せ健康経営	150-151
		労働安全衛生	157-162
103-2	マネジメント手法とその要素	幸せ健康経営	150-151
		労働安全衛生	157-162
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		ダイバーシティ&インクルージョン マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	22
		幸せ健康経営	150-151
		労働安全衛生	157-162

労働安全衛生②(GRI 403: 労働安全衛生 2018)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	施工部門における労働安全衛生マネジメントシステム	157
403-2	危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	労働災害発生状況	158-159
		労務管理の推進	170
403-3	労働衛生サービス	幸せ健康経営	150-151
		施工部門における労働安全衛生マネジメントシステム	157
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	施工現場での労働安全衛生活動	159
		労務管理の推進	170
403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	安全衛生教育研修の実施	158
403-6	労働者の健康増進	幸せ健康経営	150-151
		施工部門における労働安全衛生マネジメントシステム	157
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	「積水ハウス会」との協同と、施工協力会社向け福利厚生制度の運営	160
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	施工部門における労働安全衛生マネジメントシステム	157
403-9	労働関連の傷害	労働災害発生状況	158-159
		社会データ	188
403-10	労働関連の疾病・体調不良	労働災害発生状況	158-159
		社会データ	188

GRI対照表

研修と教育①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	人財の育成・開発	140-144
103-2	マネジメント手法とその要素	人財の育成・開発	140-144
103-3	マネジメント手法の評価	ダイバーシティ&インクルージョン マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	22
		人財の育成・開発	140-144

研修と教育②(GRI 404: 研修と教育 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	研修と能力開発への投入	142
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	人財の育成・開発	140-144
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	キャリア面談	143

ダイバーシティと機会均等①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	ダイバーシティ&インクルージョン	145-149
103-2	マネジメント手法とその要素	ダイバーシティ&インクルージョン	145-149
103-3	マネジメント手法の評価	ダイバーシティ&インクルージョン マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	22
		ダイバーシティ&インクルージョン	145-149

ダイバーシティと機会均等②(GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	コーポレートガバナンス・ハイライト	71
		取締役会の構成	73
		役員一覧	89-91
		従業員数内訳	146
		社会データ	188-190
		ガバナンスデータ	191
		10カ年ハイライト	196
405-2	基本給と報酬総額の男女比	ジェンダー賃金指標	146

非差別(GRI 406: 非差別 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
406-1	差別事例と実施した救済措置	該当無し	

結社の自由と団体交渉(GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	該当無し	

児童労働(GRI 408: 児童労働 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当無し	

強制労働(GRI 409: 強制労働 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当無し	

保安慣行(GRI 410: 保安慣行 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—	

先住民族の権利(GRI 411: 先住民族の権利 2016)

GRIスタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
411-1	先住民族の権利を侵害した事例	該当無し	

GRI対照表

人権アセスメント①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	人権の尊重	152-156
103-2	マネジメント手法とその要素	人権の尊重	152-156
103-3	マネジメント手法の評価	人権の尊重	152-156

人権アセスメント②(GRI 411: 人権アセスメント 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
411-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	ヒューマンリレーション推進体制	152
		リスクマネジメント	153-154
411-2	人権方針や手順に関する従業員研修	人権へのコミットメント	152
		事業活動における人権尊重への取り組み	152
		事業活動における人権に関する影響評価の実施と対策	154
		ヒューマンリレーション研修実施率(年度)	155
		ヒューマンリレーション研修	156
411-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	—	—

地域コミュニティ①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	地域社会との共生	133-139
103-2	マネジメント手法とその要素	地域社会との共生	133-139
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		地域社会との共生	133-139

地域コミュニティ②(GRI 413: 地域コミュニティ 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	ステークホルダーエンゲージメント	39
		地域社会との共生	133-139
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	該当無し	

サプライヤーの社会面のアセスメント①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	S サプライチェーン・マネジメント	131-132
103-2	マネジメント手法とその要素	S サプライチェーン・マネジメント	131-132
103-3	マネジメント手法の評価	持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	19
		S サプライチェーン・マネジメント	131-132

サプライヤーの社会面のアセスメント②(GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	S サプライチェーン・マネジメント	131-132
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	リスクマネジメント	131-132

公共政策(GRI 415: 公共政策 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
415-1	政治献金	—	

顧客の安全衛生①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
103-2	マネジメント手法とその要素	お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
103-3	マネジメント手法の評価	良質な住宅ストックの形成 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	17
		お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130

顧客の安全衛生②(GRI 416: 顧客の安全衛生 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	マテリアリティの背景にある積水ハウスの技術と思想 (良質な住宅ストックの形成)	15-16
		お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
		自然災害発生時の対応	171
416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	該当なし (「製品およびサービス、安全衛生」に関する違反・罰則の有無)	168

GRI対照表

マーケティングとラベリング①(GRI 103: マネジメント手法 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
103-2	マネジメント手法とその要素	お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
103-3	マネジメント手法の評価	良質な住宅ストックの形成 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI	17
		お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130

マーケティングとラベリング②(GRI 417: マーケティングとラベリング 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	脱炭素社会への貢献	103-107
		生物多様性保全	112-114
		資源循環	115-118
		お客様への取り組み・技術開発・新事業創出	129-130
		労働安全衛生	157-162
417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	該当無し (「製品およびサービス、安全衛生」に関する違反・罰則の有無)	168
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	該当無し	

顧客プライバシー(GRI 418: 顧客プライバシー 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	該当無し(「顧客プライバシー」に関する違反・罰則の有無)	168

社会経済面のコンプライアンス(GRI 419: 社会経済面のコンプライアンス 2016)

GRI スタンダード番号	開示事項	Value Report 2022 掲載箇所	掲載ページ
419-1	社会経済分野の法規制違反	該当無し(「法令の遵守状況」)	168

SASB対照表 住宅建設業 (Home Builders)

土地利用および生物学的影響

	単位	コード	内容
再開発地で引き渡された(1)区画数、および(2)住宅数	件数	IF-HB-160a.1	
ベースライン水ストレスが高い地域または非常に高い地域で引き渡された(1)区画数、および(2)住宅数	件数	IF-HB-160a.2	
環境規制に関連する法的手続きの結果としての金銭的損失の総額	報告通貨	IF-HB-160a.3	> コンプライアンスの推進 > 法令の遵守状況 > 「環境」に関する違反・罰則の有無 (P.168) 2021年度において、重要な環境関連法規制などの違反・処罰はありません。また、工場においても周辺環境に影響を与える漏出事故は発生していません。当社グループにおける環境関連の罰金はありませんでした。
環境に関する考慮事項を、用地選定、用地設計および用地開発と建設に統合するプロセスについての説明	n/a	IF-HB-160a.4	> 生物多様性保全 (P.112-114)

労働者の安全衛生

	単位	コード	内容
(1) (a) 正社員および (b) 契約社員の総記録災害度率 (TRIR)、および (2) 死亡	レート	IF-HB-320a.1	> 労働安全衛生 > 労働災害発生状況 > 休業災害度率、業務上疾病度率、死亡者数 (P.158-159)

資源効率的な設計

	単位	コード	内容
(1) 認定されたHERS®インデックススコアを取得した住宅数、および(2)平均スコア	件数、指数	IF-HB-410a.1	> 脱炭素社会への貢献 > 戸建住宅「グリーンファースト ゼロ」によるZEHの推進 > 戸建住宅ZEHの進捗状況 (P.103) 発売開始した2013年度からの累積棟数は69,163棟となりました(2022年3月末時点)。
WaterSense®の仕様に認定された設置済み水道設備の割合	パーセンテージ (%)	IF-HB-410a.2	
第三者のマルチ属性グリーンビルディング基準に認定された、引き渡された住宅の数	件数	IF-HB-410a.3	
住宅の設計に資源効率を組み込むことに関連するリスクと機会、およびベネフィットを顧客に伝える方法の説明	n/a	IF-HB-410a.4	> 環境戦略 (P.46-47) > 脱炭素社会への貢献 (P.103-107) > 資源循環 (P.115-118) > 水 (P.119-121) > サプライチェーン・マネジメント (P.122-124) > その他環境管理 (P.125-127)

新規開発のコミュニティへの影響

	単位	コード	内容
インフラストラクチャー、サービスおよび経済の中心地への近接性とアクセスが、用地選定と開発の決定にどのように影響するかについての説明	n/a	IF-HB-410b.1	
インフィル用地で引き渡された(1)区画数、および(2)住宅数	件数	IF-HB-410b.2	
(1) コンパクト開発で引き渡された住宅の数、および(2) 平均的な住宅密度	件数	IF-HB-410b.3	

SASB対照表

気候変動への適応

	単位	コード	内容
100年洪水地帯にある区画の数	件数	IF-HB-420a.1	
気候変動リスクエクスポージャー分析、システマティックなポートフォリオエクスポージャーの程度、およびリスクを軽減するための戦略の説明	n/a	IF-HB-420a.2	>脱炭素社会への貢献>TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示(P.108-111)

アクティビティメトリクス

	単位	コード	内容
管理区画数	件数	IF-HB-000.A	>10ヵ年ハイライト>積水ハウス不動産借り上げ入居率・管理室数(P.195)
引き渡された住宅の数	件数	IF-HB-000.B	>経営資源>累積建築戸数254万戸(P.34) >10ヵ年ハイライト>当社住宅建築戸数(戸)(P.195)
稼働している販売コミュニティの数	件数	IF-HB-000.C	

TCFD提言の推奨開示

提言*1	推奨開示	Value Report 2022 掲載箇所／関連情報
<p>ガバナンス 気候関連のリスクと機会に関する組織のガバナンスを開示する。</p>	<p>a) 気候関連のリスクと機会に関する取締役会の監督について記述する。</p> <p>b) 気候関連のリスクと機会の評価とマネジメントにおける経営陣の役割を記述する。</p>	<p>> 積水ハウスのマテリアリティ(P.13) > マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI(持続可能な社会の実現)(P.19) > 環境戦略>環境戦略の遂行に向けたガバナンス(P.47) > 主な組織・会議体制と役割(P.73) > ESG経営の推進体制(P.98-99) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>ガバナンス(P.108) > その他環境管理>環境負荷低減に関するコミットメント(P.125) > サステナビリティガバナンス体制の強化>体制(ガバナンス)(P.164)</p> <p>> 積水ハウスのマテリアリティ(P.13) > マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI(持続可能な社会の実現)(P.19) > 社長メッセージ(P.23-26) > 環境戦略>環境戦略の遂行に向けたガバナンス(P.47) > 主な組織・会議体制と役割(P.73) > 役員報酬(P.79-80) > ESG経営の推進体制(P.98-99) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>ガバナンス(P.108) > その他環境管理>環境負荷低減に関するコミットメント(P.125) > サステナビリティガバナンス体制の強化>体制(ガバナンス)(P.164)</p>
<p>戦略 気候関連のリスクと機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす実際の影響と潜在的な影響について、その情報が重要(マテリアル)な場合は、開示する。</p>	<p>a) 組織が特定した、短期・中期・長期の気候関連のリスクと機会を記述する。</p> <p>b) 気候関連のリスクと機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす影響を記述する。</p> <p>c) 2°C以下のシナリオを含む異なる気候関連のシナリオを考慮して、組織戦略のレジリエンスを記述する。</p>	<p>> 積水ハウスのコーポレートストーリーが創出する提供価値とマテリアリティ(P.14) > 積水ハウスを取り巻く事業環境とリスク・機会(P.32) > バリューチェーン>リスク・機会(P.37-38) > 脱炭素社会への貢献(P.103-107) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>戦略(P.108-110)</p> <p>> 持続可能な社会の実現 マテリアリティの背景にある積水ハウスの技術と思想(P.18) > 経営資源>モノ(自然資本)(P.33) > バリューチェーン>リスク・機会(P.37-38) > 戦略の変遷と第5次中期経営計画の位置づけ(P.57) > 環境戦略(P.46-47) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>戦略(P.108-110)</p> <p>> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>戦略(P.108-110) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>積水ハウスグループの既存戦略の強靱性に関する確認結果(P.110) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に沿った情報開示>積水ハウスグループの今後の課題(P.111)</p>

TCFD提言の推奨開示

提言*1	推奨開示	Value Report 2022 掲載箇所／関連情報	Value Report 2022 掲載箇所／関連情報
リスクマネジメント 組織がどのように気候関連リスクを特定し、評価し、マネジメントするのかを開示する。	a) 気候関連リスクを特定し、評価するための組織のプロセスを記述する。	> ステークホルダーエンゲージメント (P.39) > コーポレートガバナンス> 主な組織・会議体制と役割 (P.73) > ESG経営の推進体制 (P.98-99) > 国際的なイニシアチブへの参画や行政・業界団体等との活動 (P.101) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > ガバナンス (P.108) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > リスクマネジメント (P.111)	> サプライチェーン・マネジメント> リスクマネジメント (P.123) > サプライチェーン・マネジメント> 活動・その他関連情報 > 資材・原材料調達段階のCO ₂ 削減 (P.124) > その他環境管理> 取り組みやその他関連情報 > 製品またはシステム設計でのライフサイクル分析の活用 (P.127) > サステナビリティガバナンス体制の強化 (P.164) > リスクマネジメントの強化 (P.169)
	b) 気候関連リスクをマネジメントするための組織のプロセスを記述する。	> コーポレートガバナンス> 主な組織・会議体制と役割 (P.73) > ESG経営の推進体制 (P.98-99) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > ガバナンス (P.108)	> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > リスクマネジメント (P.111) > サステナビリティガバナンス体制の強化 (P.164) > リスクマネジメントの強化 (P.169)
	c) 気候関連リスクを特定し、評価し、マネジメントするプロセスが、組織の全体的なリスクマネジメントにどのように統合されているかを記述する。	> コーポレートガバナンス> 主な組織・会議体制と役割 (P.73) > ESG経営の推進体制 (P.98-99) > TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > ガバナンス (P.108)	> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > リスクマネジメント (P.111) > サステナビリティガバナンス体制の強化 (P.164) > リスクマネジメントの強化 (P.169)
指標と目標 その情報が重要(マテリアル)な場合、気候関連のリスクと機会を評価し、マネジメントするために使用される指標と目標を開示する。	a) 組織が自らの戦略とリスクマネジメントに即して、気候関連のリスクと機会の評価に使用する指標を開示する。	> 持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI (持続可能な社会の実現) (P.19) > 経営資源> モノ(自然資本) (P.33) > 環境戦略 (P.47) > 脱炭素社会への貢献 (P.103-107)	> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > 指標とターゲット (P.111) > 環境データ (P.173-177,179-187) > 独立保証報告書 (P.192)
	b) スコープ1、スコープ2、該当する場合はスコープ3のGHG排出量、および関連するリスクを開示する。	> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > 指標とターゲット/積水ハウスグループの今後の課題 (P.111) > 環境データ (P.173-177,179-187)	> 独立保証報告書 (P.192)
	c) 気候関連のリスクと機会をマネジメントするために組織が使用する目標、およびその目標に対するパフォーマンスを記述する。	> 持続可能な社会の実現 マテリアリティの取り組みに向けたテーマ・KPI (持続可能な社会の実現) (P.19) > 環境戦略> ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の推進 (P.47) > 脱炭素社会への貢献 (P.103-107)	> TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に沿った情報開示 > 指標とターゲット/積水ハウスグループの今後の課題 (P.111) > 環境データ (P.173-177,179-187) > 10ヵ年ハイライト> 非財務データ > 技術 > グリーンファースト ゼロ(ZEH) 契約率 (P.196)

*1 表内の提言と推奨開示の和文は、以下文書(2021年10月改訂)による。

 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 気候関連財務情報開示タスクフォースの提言の実施